



SENAを もっと 便利 に使おう

TIPS Vol.2

Q SenaのBluetoothインターコムはどんな方法で複数の仲間と通話できますか？

A マルチウェイインターコムと、グループインターコムの2種類です。

※30Kにはこれらに加えてMeshインターコム通話もあります。Meshに関してはまた別の機会に説明致します。

対応
モデル

SRL,30K,
20S,10S,
10U,10C

2種類のを使い分けるメリットは？

ツーリングメンバーの中には、インターコムの操作が詳しい人もいれば、使い始めてまもない人、電子機器の操作になれていない人なども一緒に出かけることがありますか？

マルチウェイインターコムは、ジョグダイヤルのタップ回数で、通話相手を自由に切り替えることができ、より自由度の高いグループ通話を楽しむことができます。反面、環境により途中でグループ通話が途切れてしまう時、メンバー全員が再接続のボタン操作手順を知っている必要があります。

一方、グループインターコムの場合は、事前にリーダーがグループメンバーを登録する必要がありますが、リーダー側の簡単なボタン操作だけで常にグループ全体がつながり、おしゃべりを楽しめます。楽しいツーリングの計画を立てる上で、どうすればストレスなくグループ全員が会話を楽しめるのか、2種類の方法を調べてみましょう。

どのような仕組み？

SenaのBluetoothインターコム通信は、お互いに手をつないでゆく、「数珠つなぎ」の方式です。A、B、Cという3台のインターコムが



ある場合、"B"が、右手で"A"と、左手で"C"と繋ぐことによりA-B-Cという接続が可能になり、お互い手を繋いでゆくことにより、30Kや10シリーズであれば4台、20S、SRLであれば、8台までのBluetoothインターコムと「手をつなぎ」ことができます。マルチウェイの場合には、相手と手を繋ぐ操作を各自が手動で行ないます。それに対してグループインターコムの場合には、リーダーのボタン操作一つで自動的に手が繋がれていきます。何かの拍子に通話が切れ、手が離れてしまった場合の再接続方法も同様です。

使う場面は？

マルチウェイインターコムは、つなぐ相手を自由に選べるため、より自由な通話が可能です。例えば、仲間との同時通話の他にも、時には一対一でおしゃべりしたり、他のグループに飛び入り参加したりすることもジョグダイヤルをタップして通信相手を切り替えることにより可能です。

グループインターコムの場合は、メンバーが簡単操作で通話したい場合にぴったりです。

通信距離や障害物により通信が分断されるようなことがあっても、グループリーダーのボタン操作だけですぐにグループ通話が復帰するため、他のメンバーは不必要に煩わされることなく、走行や通話に集中できます。れば非常に便利な機能なので、シチュエーションに合わせてお使いいただくことをお勧めします。

注意点は？

マルチウェイインターコムの場合、当日集合でその場でペアリングして走り出すような時は、走行中に通話トラブルが起きた時に対処しづらいかもしれません。そのため、ツーリング前に集まり、ペアリングや接続の仕組み、誰と誰が繋がっていて、どのようにして再接続ができるかなどの、事前の練習や話し合いをおすすめします。

グループインターコムの場合、当日グループ登録をしたリーダーが欠席してしまうと、グループ通話ができなくなってしまいます。そのため、リーダー以外にも、グループを作成できる人がいると望ましいです。

メンバー全員がインターコムの扱いに精通しているならばマルチウェイインターコム、リーダーが常にメンバーとの接続を見守る場合はグループインターコム、といった具合にツーリング前にメンバーと良く話し合いながら理想の接続を選択すれば、ツーリング当日はととても快適なおしゃべりを楽しめることでしょう。